

「Q助」(全国版救急受診アプリ)のお知らせ

救急企画室

1. はじめに

近年、救急出動件数は高齢化の進展等により、増加傾向にあり、このような状況が続けば真に必要な傷病者への対応が遅れ、救命率に影響が出る可能性があります。このため、昨年度開催した「救急業務のあり方に関する検討会」において、緊急度判定支援ツール等の検討を行ってきました。

この度、住民による緊急度判定を支援し、受診可能な医療機関や受診手段の情報を提供するため、緊急度判定プロトコルver. 2(家庭自己判断)を基に、「全国版救急受診アプリ(愛称「Q助」)」を開発し、5月25日(木)から提供を開始しました。

アプリのダウンロードの容量は、2MBと軽く、無料で利用できます。

6月20日現在のダウンロード数は25,834で、5月の月間ダウンロード数(医療部門)で1位を獲得しています。

また、6月5日付け首相官邸メールマガジンの「お知らせ」欄に、「Q助」の記事が掲載されました。

2. 概要

急な病気やけがをしたとき、該当する症状を画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応(緊急度判定:赤「いますぐ救急車を呼びましょう」、黄「できるだけ早めに医療機関を受診しましょう」、緑「緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう」、白「引き続き、注意して様子を見てください」)が、緊急性をイメージした色とともに表示されます。

その後、119番通報、医療機関の検索(厚生労働省の「医療情報ネット」にリンク)、受診手段の検索(一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会の「全国タクシーガイド」にリンク)を行うことができるようになっています。

3. 使い方

スマートフォン版:消防庁HP内「Q助」サイト、またはアプリストア(App Store、Google Play)からアプリをダウンロードしてください。

Web版:消防庁HP内「Q助」サイトからWeb版に入ってください。

実際の使用手順



(1) 緊急度の高い症状選択

(2) 年齢選択(大人・子ども)



(3) 症状・症候を選択

(4) 判定結果一例:赤

4. 広報

「Q助」を住民の方に積極的に活用していただくために、啓発用としてチラシおよび動画を消防庁HP「Q助」サイトで提供しています。自治体の広報冊子への掲載や、交通機関でのスポット広告、消防団、地域住民への消防訓練や応急手当講習時でのチラシ配布、及び商業施設等での動画宣伝用として御活用ください。

また、消防庁HP「Q助」サイトのアドレスを、消防本部や自治体HP上に貼り付けしていただいたり、SNSなどで周知していただければと思います。

さらに、広報用のポスター・チラシを作成し、7月上旬までに配布予定ですので、関係各所に配布するなど御活用ください。



消防庁HP「Q助」サイト



チラシ

5. おわりに

緊急度判定とは、単なる「救急車の利用抑制」ではなく、地域の限られた救急車を有効に活用し、緊急性の高い症状の傷病者にできるだけ早く救急車が到着できるようにすることに加え、住民が適切なタイミングで医療機関を受診できるよう支援することです。

そのため、消防庁では、自分で判断する「Q助」を広く周知し、住民による利用を促進するとともに、専門家が相談に応じる電話相談窓口である救急安心センター事業（#7119）の全国展開を進めています。

消防庁では、引き続き、住民に緊急度判定の概念について、普及コンテンツを用いた啓発や、緊急度判定ツールの普及を促進していきますので、消防機関におかれても、御協力の程よろしく申し上げます。



動画

問い合わせ先

消防庁救急企画室
TEL: 03-5253-7529